

兵庫県立舞子高等学校 令和3年度学校評価報告書

評価項目 (Plan・Do)	学校自己評価 (Check1)	学校関係者評価 (Check2)												
<p>【校訓】 誠実 健全 親愛 勤勉 自他ともに誠実である 心身ともに健全である 互いを親愛で結ぶ 常に勤勉である</p> <p>【教育目標】 「誠実 健全 親愛 勤勉」の校訓のもと、人格の陶冶をはかり、知・徳・体の調和のとれた、みずみずしい感性を備えたところ豊かな人間を育成する。</p> <p>【めざす生徒像・学校像】 (中期目標から) ・めざす生徒像 「自ら考え、行動する自立できる人間」 ・めざす学校像 「地域に根ざした、信頼される学校」</p> <p>【5つの柱】 (中期目標から) 1 特色あるカリキュラムの充実 2 自己実現を目指した進路指導の充実 3 学力向上を目指した学習指導の充実 4 内面的理解に基づく生徒指導の充実 5 教職員の資質向上</p>	<p>実践目標 「改革の5つの柱」に基づく17項目を設定。平成29年度より、いじめ対策の項目を追加した。</p> <p>アンケート実施 (令和3年12月、教職員・生徒・保護者にアンケートを実施) ・無記名方式 ・数値選択方式 (4 そう思う、3 ややそう思う、2 あまりそう思わない、1 そう思わない、0 わからない) ※ 「0」でないデータを評価のデータとして扱う ・教職員、生徒、保護者それぞれの平均値を算出後100点に換算 (平均値×25) し、評価点とする ・三者の評価点の平均 ((教職員評価+生徒評価+保護者評価)÷3) を算出し、三方向評価点とする</p> <p>評価基準</p> <table border="1"> <tr> <td>評価A (達成できた)</td> <td>…80点以上</td> <td>(90点以上はA+、90点未満はA-)</td> </tr> <tr> <td>評価B (ほぼ達成できた)</td> <td>…60点以上 80点未満</td> <td>(70点以上はB+、70点未満はB-)</td> </tr> <tr> <td>評価C (あまり達成できなかった)</td> <td>…40点以上 60点未満</td> <td>(50点以上はC+、50点未満はC-)</td> </tr> <tr> <td>評価D (達成できなかった)</td> <td>…40点未満</td> <td>(30点以上はD+、30点未満はD-)</td> </tr> </table> <p>アンケート回収 <12月> 教職員 (集計数 53名) 対象・・・校長、教頭、教諭、養護教諭 生徒 (集計数 792名) 保護者 (集計数 555名)</p>	評価A (達成できた)	…80点以上	(90点以上はA+、90点未満はA-)	評価B (ほぼ達成できた)	…60点以上 80点未満	(70点以上はB+、70点未満はB-)	評価C (あまり達成できなかった)	…40点以上 60点未満	(50点以上はC+、50点未満はC-)	評価D (達成できなかった)	…40点未満	(30点以上はD+、30点未満はD-)	<p>【総合的な学校評価】 総合評価 B+ (76.6)</p> <p>【来年度に向けての意見・提案等】 入学を希望する生徒や保護者の期待・ニーズを踏まえた学校のビジョンが教職員に浸透している。また、本校の強みや課題が教職員に共有されており、教職員の自律的できめ細かい生徒への関わりにつながっている。</p> <p>本校の「生徒目線のぶれない生徒指導」と、環境防災科や先進理工類型での「体験活動」「課題研究」で培われた生徒のコミュニケーション力の高さは、長年の蓄積による本校の財産である。</p> <p>今後は、中堅老舗の進学校の地位を確固たるものにするために、①「1, 2年での学びの忘れ物」をしない日々の学習習慣作り、②指定校枠を行かした総合選抜へのチャレンジによるワンランク上の進路実現をめざして欲しい。スクールミッションやポリシーを上手に発信し、今後も人気校であり続けることを期待する。</p>
評価A (達成できた)	…80点以上	(90点以上はA+、90点未満はA-)												
評価B (ほぼ達成できた)	…60点以上 80点未満	(70点以上はB+、70点未満はB-)												
評価C (あまり達成できなかった)	…40点以上 60点未満	(50点以上はC+、50点未満はC-)												
評価D (達成できなかった)	…40点未満	(30点以上はD+、30点未満はD-)												

重点目標	実践目標	アンケート質問文			評価点				達成状況		次年度に向けた改善の方策	自己評価は適切であるか 改善の方策は適切であるか 来年度に向けての意見・提案等
		教職員	生徒	保護者	教職員	生徒	保護者	三方向	実践目標	重点目標		
学校の特色化の推進	1 地域に開かれた学校をめざして、地域防災セミナー(8月)、朝の挨拶運動(9月)、震災メモリアル行事(1月)や震災メモリアル行事など地域や保護者と連携した教育活動を行う	地域防災セミナー(8月)、朝の挨拶運動(9月)、震災メモリアル行事(1月)など地域や保護者と連携した教育活動を行っている	地域防災セミナー(8月)、朝の挨拶運動(9月)、震災メモリアル行事(1月)、震災メモリアル行事など地域と密着した教育活動が積極的に行われている	地域防災セミナー(8月)、朝の挨拶運動(9月)、震災メモリアル行事(1月)、震災メモリアル行事など地域と密着した教育活動が積極的に行われている	89 (88) (90) (91)	79 (79) (77) (76)	71 (82) (77) (79)	80 (83) (81) (82)	A-	77.3	【総務部】 1. 生徒と保護者の結果を踏まえつつ、引き続き地域に開かれた学校づくりを行っていく。新型コロナウイルスへの感染対策を行ったうえで、実施できるものとこれまでの形では実施が難しいものがあるので、1つ1つの教育活動について、より実施しやすく、また連携を深めていけるように見直しをしていく。 3. 感染対策との両立を図りながら学校行事に懸命に取り組む姿が見られた。来年度も引き続き感染対策を取りながら参加できる学校行事を、生徒会を中心に生徒とともに考え、主体的な参加を促したい。そうする中で、成就感が生まれると考える。 4. 学校ホームページに関しては、より早く情報発信できるように体制を整えていく必要がある。ブログに関しては、引き続き各部、学年、部活動の積極的な情報発信を働きかける必要がある。	【自己評価】 …… <input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> ない 【改善の方策】 …… <input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> ない
	2 生徒の実態にあった教育課程を編成し、個性の伸長と進路希望の実現を図る	新教育課程の趣旨を踏まえ、生徒の実態や進路希望に合った教育課程を編成している	科目の配置や選択科目の設定に満足している	科目の配置や選択科目の設定に満足している	76 (77) (79) (76)	71 (73) (72) (70)	74 (76) (74) (72)	74 (76) (75) (72)	B+ B+		【環境防災科】 1 昨年来続いているコロナ禍のため行事の拡充が難しく、地域への周知活動(ポスター配布等)も限られた範囲となった。地域防災セミナーは昨年の反省をふまえて、屋外のブースに加えて冷房を効かせた室内でも、感染防止対策を施してワークショップを行った。震災メモリアル行事は1月に実施するので、このアンケートをとる12月時点では(特に1年生とその保護者は)評価しにくい項目である。今年度は環境防災科20周年記念ソングの披露とシンポジウム、多聞東中学校へのオンライン配信など新たな試みを行うことができた。より広く発信していくためにICT環境(ハード・ソフト・人員)整備が急務である。	【来年度に向けての意見・提案等】 1 今年度、多聞東中学校トライやるウィークに、環境防災科から出前授業をありがとうございました。次年度も、メモリアル行事の配信等も含め、よろしく願いいたします。 1 地域との連携に対応していただいて、非常にありがたいと思います。今後も続けて一緒に活動していきたいと考えます。震災メモリアルについても、語り継いでいくことは大事だと思います。地域の防災力に関しても、一緒に向上していきたいと考えます。
	3 学校行事に生徒を主体的に参加させ、成就感を体感させる	様々な学校行事に生徒を主体的に参加させ、成就感を体感させる	学校行事に自主的、積極的に参加し、やりがいを感じている	お子様は学校行事に積極的に参加している	84 (79) (76) (85)	74 (74) (67) (70)	84 (86) (70) (84)	81 (80) (71) (80)	A-		【教務部・教育課程委員会】 実践目標2について、過去3年間の結果と比較しても教職員、生徒、保護者間で大きな差はなく、目標の達成状況はB+ということを見ると実践目標が概ね達成されていると判断する。	1 震災メモリアルでは、寒い中長時間座りっぱなしで、集中しにくかったように思う。休憩時間の記載があったが、2時間は辛い。また、話を無茶ぶりするだけで、中身がなかったのは残念。 1, 3 2021年は後半になればなるほど、日常的な授業や部活動、学校行事もなんとか実施され

4	学校ホームページ、メルマガ、各種パンフレットをわかりやすいものにし、情報発信を充実させる	学校ホームページ、メルマガ、各種パンフレットはわかりやすく、保護者・中学生・地域への情報発信が充実している	ホームページや学校の情報が載った各種印刷物は読みやすく、学校のことがよくわかる	ホームページや学校の情報が載った各種印刷物は読みやすく、学校のことがよくわかる	81 (79) (76) (78)	69 (70) (67) (66)	72 (72) (70) (70)	74 (74) (71) (71)	B+	<p>令和4年度入学生より新学習指導要領に則った新教育課程となるため、校内研修会を実施しながら新教育課程の編成となった。新教育課程のもと、学習指導を展開し、生徒の学習状況を評価する。その結果を生徒の学習や教師による指導の改善、教育課程の改善等に生かしていく必要がある。</p> <p>【生徒指導部】 3 今年度もコロナ感染症の影響で従来の形で学校行事ができなかった。文化祭はオンラインで行ったが、来年度に向けさらなる改善が必要である。制限のなかで行われた行事については、主体的に取り組んでいた。来年度に向け学校行事の実施方法等を模索していく必要がある。</p>	<p>るようになったと思いますが、そうした中で生徒には授業や行事のあり方ややり方が、自分にとって望ましいものであり楽しいものであったかを、きっちりと振り返らせることが必要かと思えます。生徒たちの知識や経験を増やすためには、本を読み、人の話を聞き、実物に触れることが大切です。そのためには、表面的で形式的な取り組みに終わらず、それらを通じて視野を広げ、成長につながる考え方を学ぶことが重要です。コロナ禍であってもこうした体験を増やすためには、できる限り多くの機会を創出していく必要があると思えます。</p> <p>1 コロナ禍のため、行事の開催、参加等が難しい中、引き続き感染対策に気を使いつつ、地域と連携した防災の取り組みを積極的に進めていただきますよう、よろしくお願ひします。</p> <p>3 生徒会活動をより重視した、生徒の出番を多くした取組をされてはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティア ・学校説明会 ・校則見直し ・各種行事企画（遠足、文化祭、体育祭） <p>3 生徒達が学校を魅力的な場所にしようと考えて提案し、SPTC会議でも賛同を得ているので、先生方も全面協力をして、体育祭を実現してほしい。</p>
---	--	---	---	---	----------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	----	--	---

重点目標	実践目標	アンケート質問文			評価点				達成状況		次年度に向けた改善の方策	自己評価は適切であるか 改善の方策は適切であるか 来年度に向けての意見・提案等
		教職員	生徒	保護者	教職員	生徒	保護者	三方向	実践目標	重点目標		
自己実現を目指した進路指導の充実	5 各学年・時期に応じた進路指導の実践	各学年・時期に応じた進路指導が行われている	各学年・時期に応じた進路指導が行われている	各学年・時期に応じた進路指導が行われている	80 (83) (76) (84)	77 (77) (74) (72)	75 (77) (74) (73)	77 (79) (75) (76)	B+	<p>【進路指導部】 5 校内で行うキャリア教育も大勢を一か所に集めることを避け、Teams などを利用し、分散できるようにする。大学・専門学校にも実際に行けなくてもWEBなどを活用し、具体的な情報をより多く提供出来るよう心掛ける。生徒1人1人が希望する進路を実現するためサポートする必要がある。</p>	<p>【自己評価】 …… <input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> ない</p> <p>【改善の方策】 …… <input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> ない</p>	
	6 年度当初、夏季休業中の面談に加え、個々に応じた面談を行い、サポート体制を充実させる（学習状況アンケートの活用など）	年度当初、夏季休業中の面談に加え、個々に応じた面談を行い、サポート体制が充実している（学習状況アンケートの活用など）	年度当初、夏季休業中の面談に加え、個々に応じた面談が行われ、学習や進路面で生徒を支援する体制が充実している	年度当初、夏季休業中の面談に加え、個々に応じた面談が行われ、学習や進路面で生徒を支援する体制が充実している	82 (81) (76) (82)	68 (76) (72) (71)	72 (74) (72) (72)	74 (77) (73) (75)	B+ 75.5	<p>【第1学年】 5 三学期の進路LHRを計画的に活用することで、将来の仕事や、大学入試に向けて様々な情報を提供した。進路の手引きを使い、進路意識の向上を図った。 6 コロナ禍ということもあり、例年以上に不安を抱えている生徒が多いと思われる。三者面談や二者面談はもちろんのこと、生徒個々の生活状況を踏まえた上で声掛けを行い、生徒の状況を把握することで、有効な進路指導を施していくことを心掛けた。</p> <p>【第2学年】 6 年度当初の二者面談、夏休み中の三者面談、その他必要に応じた三者面談・四者面談を行い、生徒個々の状況を把握した。コロナ感染症が長引く中、不安や焦燥感を感じる生徒へ寄り添うよう心掛けた。また、スタディサポート等を活用して生徒の学習活動の進捗状況を把握することができ、進路指導に反映することができた。</p> <p>【第3学年】 6 面談を通して生徒の進路実現に向けて指導してきたが、一般入試まで頑張らせたい生徒が指定校推薦等の総合型推薦入試に流れる傾向が今年度も続いた。早いうちに第一志望校の明確化と一般入試まで頑張る意識づけを徹底させなければならないが、現在のところ効果的な方策が確立していないのが実情である。</p>	<p>5 3年間を見通した、一目で分かる「進路マップ」のようなものを作ってはどうか。(他県の高校の見本を、後でメール添付で送ります)</p> <p>5 1年生、2年生で、抜けをつくらない(忘れ物をしない)学習習慣がポイントだと思います。スタディサプリやICTを活用した計画的、継続的な週末課題等の工夫を期待しています。</p> <p>5 18歳で選挙権が与えられ、この春から18歳で青年となり、できることも増える。大人として責任のある行動、自立を促すためにも、高一から子供扱いするのではなく、自分で考え、さまざまなことを吸収できる環境作りが大切だと思う。部活動、生徒会、ボランティア活動などで体験すること。</p>	

学力向上を目指す学習指導の充実	7	<p>自宅学習時間の向上を図る</p> <p>【質問文】 1日にどの程度自宅学習をしていますか。最も近い時間を平日・休日それぞれ1つずつ選んでください。</p> <p>(左列7月、右列12月)</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">選択肢</th> <th colspan="6">平日</th> <th colspan="6">休日</th> </tr> <tr> <th colspan="2">1年</th> <th colspan="2">2年</th> <th colspan="2">3年</th> <th colspan="2">1年</th> <th colspan="2">2年</th> <th colspan="2">3年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ほとんどしない</td> <td>44</td><td>76</td><td>73</td><td>74</td><td>25</td><td>59</td> <td>44</td><td>70</td><td>60</td><td>77</td><td>28</td><td>54</td> </tr> <tr> <td>30分程度</td> <td>57</td><td>71</td><td>57</td><td>66</td><td>49</td><td>34</td> <td>32</td><td>45</td><td>47</td><td>46</td><td>33</td><td>26</td> </tr> <tr> <td>1時間程度</td> <td>57</td><td>44</td><td>76</td><td>73</td><td>52</td><td>55</td> <td>50</td><td>52</td><td>67</td><td>65</td><td>41</td><td>39</td> </tr> <tr> <td>1時間30分程度</td> <td>40</td><td>26</td><td>36</td><td>33</td><td>37</td><td>30</td> <td>32</td><td>26</td><td>28</td><td>35</td><td>22</td><td>22</td> </tr> <tr> <td>2時間程度</td> <td>31</td><td>15</td><td>22</td><td>16</td><td>55</td><td>33</td> <td>34</td><td>12</td><td>22</td><td>14</td><td>45</td><td>35</td> </tr> <tr> <td>3時間程度</td> <td>6</td><td>1</td><td>5</td><td>2</td><td>39</td><td>24</td> <td>32</td><td>21</td><td>37</td><td>24</td><td>33</td><td>29</td> </tr> <tr> <td>4時間程度</td> <td>2</td><td>0</td><td>1</td><td>3</td><td>10</td><td>13</td> <td>12</td><td>5</td><td>8</td><td>1</td><td>32</td><td>18</td> </tr> <tr> <td>5時間程度</td> <td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>2</td><td>7</td> <td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>4</td><td>20</td><td>13</td> </tr> <tr> <td>6時間以上</td> <td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>8</td> <td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td><td>15</td><td>27</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>237</td><td>233</td><td>270</td><td>267</td><td>269</td><td>263</td> <td>237</td><td>233</td><td>270</td><td>267</td><td>269</td><td>263</td> </tr> </tbody> </table>												選択肢	平日						休日						1年		2年		3年		1年		2年		3年		ほとんどしない	44	76	73	74	25	59	44	70	60	77	28	54	30分程度	57	71	57	66	49	34	32	45	47	46	33	26	1時間程度	57	44	76	73	52	55	50	52	67	65	41	39	1時間30分程度	40	26	36	33	37	30	32	26	28	35	22	22	2時間程度	31	15	22	16	55	33	34	12	22	14	45	35	3時間程度	6	1	5	2	39	24	32	21	37	24	33	29	4時間程度	2	0	1	3	10	13	12	5	8	1	32	18	5時間程度	0	0	0	0	2	7	1	1	1	4	20	13	6時間以上	0	0	0	0	0	8	0	1	0	1	15	27	計	237	233	270	267	269	263	237	233	270	267	269	263	<p>【進路指導部】</p> <p>7 1年12月と2年の両月で、自宅学習をほとんどしない生徒が70名を超えている。授業の課題や週末課題などをきちんと行っていない可能性が高い。課題への取り組み方を丁寧に指導するとともに、スタディサプリなどの活用を一層促し、学習の定着を図るよう努める必要がある。</p> <p>【第1学年】</p> <p>9 遅刻をなくすために、一年間を通して8:40には教室に入室しておくことを促した。ベル着指導、提出物指導等により授業を正しく受ける姿勢が身につくように心掛けた。小テストも計画的に実施してきたが、一年間継続して取り組めたものもあれば、難易度の上昇もあってか、得点をとれなくなった生徒もいた。学習に対する動機づけの意味でも来年度は工夫をしたい。</p> <p>11 各教科において適切で効果的な補習、補講、個別指導を実施した。またスタディサプリが有効活用できるよう、定期的に課題を配信した。それぞれの生徒によって学力、わからないところは違うので、一斉授業で対応できない部分をスタディサプリで補えるよう来年度以降もより効果的に使用していきたい。面談、アンケート等によって個々の生徒の進路目標、学力を把握し、来年度においても適切な指導が行えるよう引き継いでいく。</p> <p>【第2学年】</p> <p>9 濃厚接触や感染不安により登校できない生徒が多い時期はTeamsによる授業配信を積極的に行い、自宅においても登校している生徒に準じる授業内容を提供した。登校できる時期は可能な限り通常の学校での学習生活を充実させるように指導した。また家庭学習の充実のため、小テスト実施による短期目標の設定・宿題の提出指導を行い、家庭学習の習慣化を促した。</p> <p>11 調査前の各教科の希望者勉強会・指名補習、英語検定に向けた勉強会など、意欲の高い層・低い層双方に働きかけを行った。調査前の課題に取り組むことで調査に向けての学習時間を確保させ、学習習慣の定着を促した。</p>	<p>【自己評価】 …… <input checked="" type="checkbox"/>適切である・<input type="checkbox"/>ない</p> <p>【改善の方策】 …… <input checked="" type="checkbox"/>適切である・<input type="checkbox"/>ない</p> <p>【来年度に向けての意見・提案等】</p> <p>7 本校の強みは ①真面目で素直な生徒で、規律ある高校 ②環境防災、先進理工という特色があるコース、科があり、「体験」「コミュニケーション能力」を育てるシステムがある。 ③指定校が多く、安心して高校生活を送ることができる。</p> <p>7 自宅での学習時間が少ないようだ。原因として、家庭でのスマートフォンや携帯の使用時間のように思われる。多種多様なコンテンツがあり、楽しいことや誘惑があり、止められない。メリハリをつける時間の使い方を、生徒、保護者にも呼びかける。</p> <p>7 テストが簡単だから勉強しないとの話もあるので、検討していただきたい。</p> <p>8 ICTを活用した授業を充実させる補助システムを検討してほしい。 ex. 授業録画を後で見られる。 ex. 補習をオンラインで行う。</p> <p>9 家庭学習がもう少し充実すれば、授業の理解度は高まり、進度も適切になると思う。</p> <p>9, 10 タブレットの導入やオンライン授業など、リモートの利用で、これまで会えなかったような人と出会え、考えもしなかったようなイベントにも参加できるのではないかと思います。アフターコロナでも、その利点や効果については、さらにそれらを活用する形で、今後に生かしていただきたい。その一方で、学力向上だけならオンラインだけでも可能ですが、人格形成や心の成長には、人とのふれあいが必要であり、顔を合わせる場の重要性を強調する必要があると思います。状況に応じてオンライン授業も活用しつつ、対面での学びや生徒同士が関わり合う機会をできる限り保障することが必要だと思います。</p> <p>10 公開授業は先生方の見せ場なので、接客サービスくらい意識してほしい。</p>
	選択肢	平日						休日																																																																																																																																																																			
		1年		2年		3年		1年		2年		3年																																																																																																																																																															
ほとんどしない	44	76	73	74	25	59	44	70	60	77	28	54																																																																																																																																																															
30分程度	57	71	57	66	49	34	32	45	47	46	33	26																																																																																																																																																															
1時間程度	57	44	76	73	52	55	50	52	67	65	41	39																																																																																																																																																															
1時間30分程度	40	26	36	33	37	30	32	26	28	35	22	22																																																																																																																																																															
2時間程度	31	15	22	16	55	33	34	12	22	14	45	35																																																																																																																																																															
3時間程度	6	1	5	2	39	24	32	21	37	24	33	29																																																																																																																																																															
4時間程度	2	0	1	3	10	13	12	5	8	1	32	18																																																																																																																																																															
5時間程度	0	0	0	0	2	7	1	1	1	4	20	13																																																																																																																																																															
6時間以上	0	0	0	0	0	8	0	1	0	1	15	27																																																																																																																																																															
計	237	233	270	267	269	263	237	233	270	267	269	263																																																																																																																																																															
8	<p>授業の理解度の向上を図る</p> <p>【質問文】 授業についての印象に最も近いものを次のうちから1つ選んでください。</p> <p>(左列7月、右列12月)</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>選択肢</th> <th colspan="2">1年</th> <th colspan="2">2年</th> <th colspan="2">3年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>授業は理解できており、今のところ不安はない</td> <td>16</td><td>27</td><td>22</td><td>28</td><td>33</td><td>80</td> </tr> <tr> <td>授業は理解できているが、少し不安である</td> <td>74</td><td>77</td><td>67</td><td>92</td><td>72</td><td>78</td> </tr> <tr> <td>授業は少しわからないところもあるが、頑張ればついていけると思う</td> <td>90</td><td>71</td><td>110</td><td>99</td><td>113</td><td>76</td> </tr> <tr> <td>授業に少しわからないところがあり、不安である</td> <td>42</td><td>41</td><td>62</td><td>39</td><td>38</td><td>21</td> </tr> <tr> <td>授業についていけず、非常に不安である</td> <td>14</td><td>8</td><td>9</td><td>8</td><td>8</td><td>3</td> </tr> <tr> <td>授業についていけず、あきらめかけている</td> <td>1</td><td>9</td><td>0</td><td>1</td><td>5</td><td>5</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>237</td><td>233</td><td>270</td><td>267</td><td>269</td><td>263</td> </tr> </tbody> </table>												選択肢	1年		2年		3年		授業は理解できており、今のところ不安はない	16	27	22	28	33	80	授業は理解できているが、少し不安である	74	77	67	92	72	78	授業は少しわからないところもあるが、頑張ればついていけると思う	90	71	110	99	113	76	授業に少しわからないところがあり、不安である	42	41	62	39	38	21	授業についていけず、非常に不安である	14	8	9	8	8	3	授業についていけず、あきらめかけている	1	9	0	1	5	5	計	237	233	270	267	269	263	<p>【第3学年】</p> <p>7 スタディサプリ等も含めて自宅学習時間の増進を促してきた結果、受験に対して真摯に取り組んでいる生徒の学習時間は確実に増加したが、反対に受験生であるにもかかわらず自宅でほとんど学習しない生徒も一定数はおり、その二極分化が顕著に表れた。受験に向けた意識改革を施さなければならないが、早いうちから受験に対する意識づけや心構えなどを卒業生も含めた外部の方に繰り返し話してもらうことも一つの方策になるのではないだろうか。</p> <p>11 塾・予備校への依存度が高いため、学校での補習・補講よりも塾での授業や自習を優先する生徒も見受けられた。その結果、志望校も塾・予備校本位での決定になりがちで、学校としての進路指導にやりにくさを感じることもあった。面談等を繰り返し行い、学校の進路指導における信頼感を高めていかなければならない。</p>																																																																																																					
選択肢	1年		2年		3年																																																																																																																																																																						
授業は理解できており、今のところ不安はない	16	27	22	28	33	80																																																																																																																																																																					
授業は理解できているが、少し不安である	74	77	67	92	72	78																																																																																																																																																																					
授業は少しわからないところもあるが、頑張ればついていけると思う	90	71	110	99	113	76																																																																																																																																																																					
授業に少しわからないところがあり、不安である	42	41	62	39	38	21																																																																																																																																																																					
授業についていけず、非常に不安である	14	8	9	8	8	3																																																																																																																																																																					
授業についていけず、あきらめかけている	1	9	0	1	5	5																																																																																																																																																																					
計	237	233	270	267	269	263																																																																																																																																																																					
9	<p>学習の仕方、学び方の指導を充実させる</p>	<p>学習の仕方、学び方の指導を充実させている</p>	<p>学習の仕方、学び方の指導に満足している</p>	<p>学習の仕方、学び方の指導が充実していると感じる</p>	74 (75) (68) (74)	68 (70) (64) (65)	67 (70) (67) (67)	79 (72) (66) (69)	B+	B+ 75.0																																																																																																																																																																	
10	<p>分かる授業、意欲を高める授業の実施に努める</p>	<p>分かる授業、意欲を高める授業を実施している</p>	<p>分かる授業、意欲を高める授業が行われている</p>	<p>分かる授業、意欲を高める授業が多いと感じる</p>	80 (76) (70) (75)	67 (68) (62) (63)	65 (67) (64) (64)	71 (70) (65) (67)	B+																																																																																																																																																																		
11	<p>補習、補講、個別指導など学習習慣の定着に向けた継続的な指導を推進する</p>	<p>補習、補講、個別指導など学習習慣の定着に向けた継続的な指導を行っている</p>	<p>補習、補講、個別指導など学習習慣の定着に向けた継続的な指導が行われている</p>	<p>補習、補講、個別指導など学習習慣の定着に向けた継続的な指導が行われている</p>	78 (80) (75) (80)	76 (76) (72) (71)	70 (71) (69) (70)	75 (76) (72) (74)	B+																																																																																																																																																																		

重点目標	実践目標		アンケート質問文								達成状況		次年度に向けた改善の方策	自己評価は適切であるか 改善の方策は適切であるか 来年度に向けての意見・提案等
			教職員	生徒	保護者	評価点								
						教職員	生徒	保護者	三方向					
内面理解に基づく生徒指導の充実	12	携帯電話・スマートフォンの使用マナーの向上を図る	携帯電話・スマートフォンの使用マナーの指導は十分にできている	携帯電話・スマートフォンの使用マナーを守ろうと思う	お子様は携帯電話・スマートフォンの使用マナーを守っている	74 (79) (73) (83)	94 (94) (91) (86)	77 (80) (76) (76)	82 (85) (80) (82)	A-	82.5	【生徒指導部】 12 授業中の携帯電話の指導については特に問題はなかった。来年度以降も生徒の意識を高めつつ、指導を続けていく。 【情報科】 12 授業でスマホ等の利用を含む情報モラルの教材を用いて、啓蒙に努めている。生徒たちは頭の中では、モラルやマナーに反することと理解しているが、実際の利用時には、その場の勢いで不適切な投稿をすることもあり、継続的な声掛けが必要である。 【教育相談委員会】 13 委員会を定期的に開催し、職員全体で生徒の情報を共有する。定期健康診断結果、保健室来室状況、欠席状況、健康調査等により、生徒の抱える問題を早期に発見し、適切な対応を行う。生徒の課題や配慮について検討し、適切な支援を提案する。キャンパスカウンセラー、保護者等と連携し、個に応じた教育相談を実施する。 【生徒指導部】 14 校内の制服着用についてはできていたが、校外での制服着用についての意識を高めていくための指導が必要である。頭髪に関しては、髪型の指導が多かった。高校生らしい髪型というもの自身で認識できるように指導していく必要がある。 15 電車・バス内や自転車の通行等、高校生は地域から注目されていることを意識し、周りに気を付けることができるような指導が必要である。	【自己評価】 …… <input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> ない 【改善の方策】 …… <input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> ない	
	13	日頃から生徒の状況把握に努め、声かけや会話を通して日常的な教育相談活動（カウンセリングマインド）を充実させる	日頃から生徒の状況把握に努め、声かけや会話を通して日常的な教育相談活動（カウンセリングマインド）が充実している	学校生活における悩みを相談できる教職員がいる	保護者として学校に悩みを相談しやすい雰囲気がある	85 (80) (77) (80)	70 (72) (68) (67)	65 (69) (65) (67)	73 (74) (70) (71)	B+				
	14	制服着用のルールを守り、頭髪等においても清楚な身だしなみを心がける	制服着用のルールや頭髪等のルールの指導は十分にできている	制服着用のルールを守り、清楚な身だしなみを心がけている	お子様は制服着用のルールを守り、頭髪等においても清楚な身だしなみをしている	79 (86) (81) (90)	92 (92) (89) (86)	93 (94) (90) (89)	88 (91) (87) (88) (88)	A-				
	15	通学時のマナーの向上を図る	通学時のマナーの指導は十分にできている	通学時において、徒歩・自転車・バスなどのマナーに気を付けている	お子様はバス通学や自転車通学等において、マナーを守っている	74 (75) (75) (80)	94 (93) (91) (87)	92 (93) (90) (90)	87 (87) (85) (86)	A-				
教職員の資質・能力の向上	16	公開授業・研究授業を通し、感想や助言を相互に行うことにより、授業改善を図る	公開授業・研究授業を通し、感想や助言を相互に行うことにより、授業改善ができています	公開授業・研究授業が実施されており、分かる授業、意欲を高める授業と実感している	公開授業・研究授業が実施されており、分かる授業、意欲を高める授業と実感している	67 (69) (74) (75)	70 (72) (67) (67)	72 (73) (70) (71)	70 (72) (70) (71)	B+	70.0	【管理職】 16 昨年度からの課題であった ICT や BYOD に向けた研修を継続的に行うことができた。 最初は職員会議で ICT の活用から始めた。次年度からの入学生が BYOD の対象学年とあって、教職員の焦りもあり、職員同士で相談しながら行えた。次に、県内小学校のエバンジェリストを講師に招き、小学校ではどのような教育が行われているのかを知り教職員の士気につなげた。また教科ごとにどのような使い方が効果的であるかなど講師を招いて研修を行った。 実践的な活用に繋がったのは、新型コロナウイルスの蔓延による濃厚接触者の増加が大きかったように感じる。学校の授業を配信し、ICT に関する授業が活発に行われるようになった。このような授業についても教員同士が授業見学等を行い、教職員の資質・能力の向上につながった。 次年度における課題としては、職員の技能差であるソフト面と全教室で配信やタブレットを使用した際の Wi-Fi 環境といったハード面があげられる。引き続き、研修等を行い教員の誰もが ICT を使えるよう資質を高めていく。また本校は、Wi-Fi 環境整備等のモデル校となっているため、県との情報を共有しながら進めていきたい。	【自己評価】 …… <input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> ない 【改善の方策】 …… <input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> ない 【来年度に向けての意見・提案等】 16 生徒の授業アンケートを年 2 回とり、授業改善に生かしてはどうか。特に、ICT 活用や対話的な学びについて、生徒の評価を聞いてみることも検討してはどうか。 16 小学校のエバンジェリストを講師に招き、小学校での教育を聞かれたことは、大変良いことだと思う。高校になって、急には学習意欲が向上するのは少数だと思う。義務教育時に身につけるべき事柄を、高校側からも要望を伝えるなどの連携が、現代には必要なのではないでしょうか。 16 昨春からのめまぐるしい変化と異例の対応に追われる教職員の感染不安や感染対策に伴う業務増などで、教職員が余裕をもって生徒と向き合い、チームで課題に対応できるよう、教職員を追加配置するなど手厚い支援が望まれます。	
いじめ対策	17	いじめ防止基本対策を実行する	いじめ防止のための取組が十分にできた	いじめ防止のための取組が十分だと感じる	いじめ防止のための取組が十分だと感じる	85 (85) (83) (86)	76 (78) (75) (72)	76 (76) (72) (72)	79 (80) (77) (77)	B+	79.0	【いじめ対応チーム】 17 いじめアンケートを正確、かつ、迅速に運用していくとともに、日常の生徒との対話や観察から、生徒の変化に気づくことが求められる。いじめを発見した場合は、性急に事を運ばず、すべてにおいて関係する教員、また、保護者とも協力して対応する必要がある。	【自己評価】 …… <input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> ない 【改善の方策】 …… <input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> ない	